

人権 / INAGAWA

木津総合会館では、人権・同和問題の課題に取り組み、一人ひとりの個性を尊重し、お互いの違いを認め合い、共に支え合う差別のない人権文化に満ちたまちづくりを進めています。



多文化共生への町の取り組み

①コミュニケーションの推進

- ▷ 姉妹都市（バララット市）との交流
- ▷ 多文化共生講演会の開催

②公共機関の外国語表記

- ▷ 公共施設や観光施設などの案内表示の外国語併記

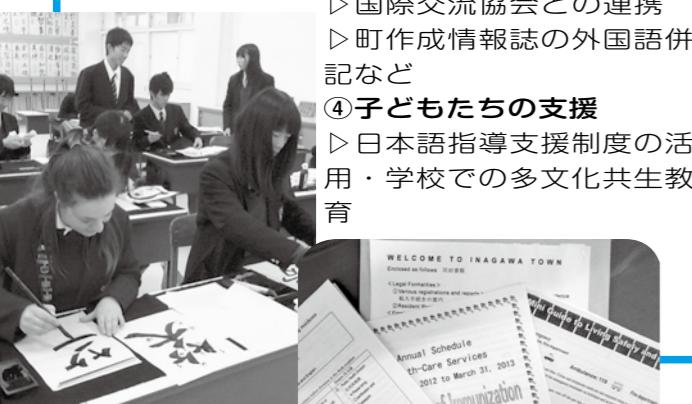
③社会活動の支援

- ▷ 外国籍住民からの相談などに的確に対応するため、外国人生活支援コーディネーターの配置や通訳ボランティアの派遣

- ▷ 国際交流協会との連携
- ▷ 町作成情報誌の外国語併記など

④子どもたちの支援

- ▷ 日本語指導支援制度の活用・学校での多文化共生教育



外国人住民を含むすべての人々が幸せいに生きる社会を築こう

急速に外国人住民が増加する中で、外国人にかかわる人権課題が、身近な問題となってきています。背景には、人種や民族性・宗教・習慣などへの理解不足による偏見や固定観念が根底にあります。一人ひとりが正しい知識を身につけ、国際感覚を養うことが求められています。

1990年（平成2年）に入管法が改正され、中南米諸国出身の日本人、特にブラジル人が全国的に増加しました。また、1993年（平成5年）の外国人研修・技能実習制度が実施され中国人を中心に増加しました。これらの人たちを「ユーハ」といいます。

2008年（平成20年）の猪名川町人権意識調査によると、名川町の外国人住民は、2012年（平成24年）の猪名川町の総人口の0・46パーセントです。この人たちは、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

猪名川町では、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。この人たちは、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

「ユーハ」の人たちは、国同様に増加しています。2012年（平成24年）の猪名川町の総人口の0・46パーセントです。この人たちは、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

猪名川町では、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

「ユーハ」の人たちは、国同様に増加しています。2012年（平成24年）の猪名川町の総人口の0・46パーセントです。この人たちは、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

「ユーハ」の人たちは、国同様に増加しています。2012年（平成24年）の猪名川町の総人口の0・46パーセントです。この人たちは、1952年（昭和27年）当時では外国籍の永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマ」と称します。

活力とにぎわいのあるまち 猪名川

~ 都市・産業・観光 ~

【新規】

◇農業用施設改良事業 80万円

大規模地震や想定を上回る豪雨によるため池の決壊、老朽化などによる機能低下が懸念されるため、ため池の耐震及び老朽化点検を行い、災害の未然防止に努めます。

◇道路改良事業 3,322万1千円

町道広根6号線等道路改良事業について、新名神高速道路事業の進捗に合わせ整備を進めます。

【拡充】

◇産地形成振興対策事業 676万5千円

ほ場及び経営規模に合わせた小規模なパイプハウス設置のニーズに対応するため、平成25年度は新たに200㎡未満のパイプハウスに対しての補助制度を設け、設置経費に対する助成を行い、地域農業・道の駅の活性化に向け取り組みます。

◇里山再生整備事業 1,217万9千円

「里山再生基本構想」に基づき、しいたけ原木伐採奨励助成事業や竹資源循環利用事業、町森林組合が実施する新製造販売事業の支援により、木質資源の利用に向けた仕組みの構築に取り組みます。

◇大野山管理運営事業 1,777万5千円

展示棟、避難小屋、トイレの屋根修繕を行うとともに、老朽化した看板を一部リニューアルします。

レットストーブを設置し、住民にも里山再生の取り組みに参画していただくため、一般家庭および事業所におけるペレットストーブや薪ストーブ設置に対し支援を行います。

◇緊急雇用創出事業 1,699万6千円

厳しい雇用失業情勢にかんがみ、緊急雇用就業機会創出基金を財源とし離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者などの失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するなどの事業を実施します。

◇大野山管理運営事業 1,777万5千円

展示棟、避難小屋、トイレの屋根修繕を行うとともに、老朽化した看板を一部リニューアルします。

【主な継続事業】

◇公共交通の充実（町内循環バス運行事業など） 2,711万2千円

◇いながわ桜まつり支援事業 292万9千円

◇道路維持補修事業 6,102万4千円

◇橋りょう維持補修事業 3,510万円

◇特別指定区域制度の活用 130万7千円



人びとと行政がともに歩むまち 猪名川 行政運営

◇第五次総合計画 後期基本計画の策定 3,465万8千円
まちづくりの指針となる第五次総合計画後期基本計画を、2カ年で策定します。平成25年度は、前期基本計画の検証、アンケートによる住民意向の把握とともに、計画策定の段階から、住民によるワークショップを開催するなど、町のまちづくりへの主体的な参加を通して参画と協働の推進を図ります。

◇コンビニ収納サービス事業 1,025万7千円
問合せ 企画財政課
(0766-8711)

◇地籍調査事業 2,095万円
問合せ 企画財政課
(0766-8711)

